

ICPMS の停止方法

装置右上の LED がオレンジ色に点灯しています。（オレンジ色で点滅している時は、モードが移行中であることを示します。）

MassHunter で機器ステータスを表示させていれば、スタンバイモード時は、[スタンバイ] と表示されます。

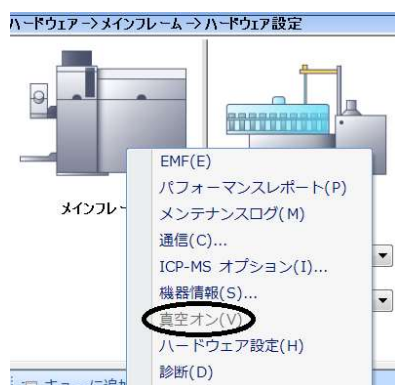


ソフトウェアのバージョンによって、真空オフの方法が異なります。

MassHunter G7201A/B の場合

コンピュータを起動し、MassHunter（ICPMS 機器コントロール）を起動します。

ハードウェア → メインフレーム ICPMS のイラストをクリックして、真空オフをクリックします。（停止モードの時は真空オン、スタンバイモードの時は真空オフの表示です。）



MassHunter G7201C の場合

コンピュータを起動し、MassHunter（ICPMS 機器コントロール）を起動します。

ハードウェアのガジェット 右小さい下矢印をクリックして、真空オフをクリックします。



確認ダイアログボックスが表示されるので、はい をクリックします。

いずれのソフトウェアでも、停止シーケンスが開始します。

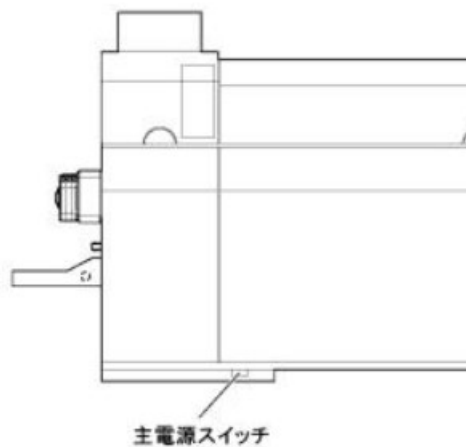
ICPMS 本体右上にある LED のインジケータがオレンジに点滅し始めます。

15 分前後で、LED のインジケータが、下記のように消灯します。（停止モード）



通常の手順でソフトウェアを終了し、PC をシャットダウンします。

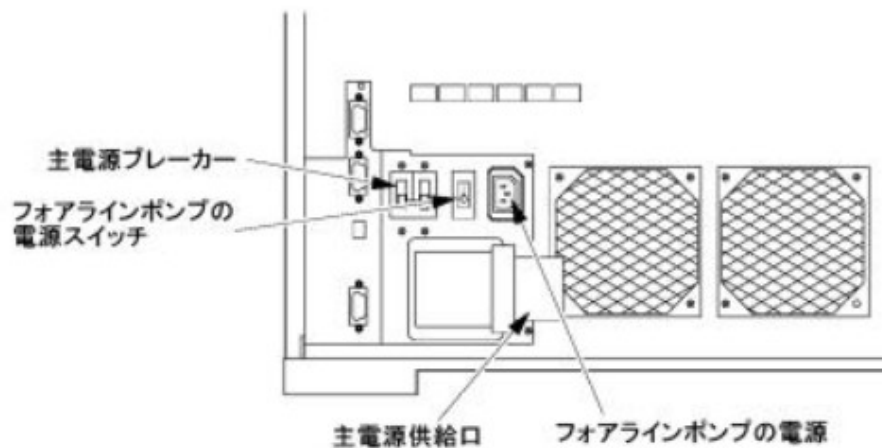
ICPMS 前面の主電源スイッチをオフにします。



ICPMS 背面の主電源ブレーカを下側に下げ、オフにします。



フォアラインポンプ（RP）用の電源スイッチ（赤いブレーカ）は上側が押されている状態（電源オン）のままでも結構です。主電源ブレーカがオフになっていれば、フォアラインポンプ（RP）に電源はかかりません。



必要に応じて、主電源供給口の電源コードを外して下さい。